

国民健康保険

高額療養費

自己負担限度額

一部負担金割合

平成27年1月から変更されます

高額療養費自己負担限度額(70歳未満対象)

下記のように変更となるため、限度額適用認定証所持者に新しい区分を記載した認定証を12月中に郵送します。

【平成26年12月31日以前】

【平成27年1月1日以降】

区分	所得要件	限度額
A 上位所得	旧ただし書所得(※) 600万円超	15万円+(総医療費-50万円)×1% (多数回該当…8万3,400円)
B 一般	旧ただし書所得(※) 600万円以下	8万100円+ (総医療費-26万7,000円)×1% (多数回該当…4万4,400円)
C 低所得	住民税非課税	3万5,400円 (多数回該当…2万4,600円)

区分	所得要件	限度額
ア	旧ただし書所得(※) 901万円超	25万2,600円+(総医療費-84万2,000円)×1% (多数回該当…14万100円)
イ	旧ただし書所得(※) 600万円超~901万円以下	16万7,400円+(総医療費-55万8,000円)×1% (多数回該当…9万3,000円)
ウ	旧ただし書所得(※) 210万円超~600万円以下	8万100円+(総医療費-26万7,000円)×1% (多数回該当…4万4,400円)
エ	旧ただし書所得(※) 210万円以下	5万7,600円 (多数回該当…4万4,400円)
オ	住民税非課税	同左(変更なし)

※旧ただし書所得とは、保険料を計算する際の基礎控除後の所得総額

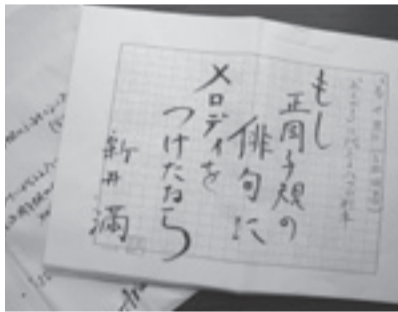
一部負担金割合の判定基準(70~74歳が対象)

これまでの判定に加え、旧ただし書所得(※)の合計額が210万円以下となる場合も窓口負担割合が2割または1割となります。(平成27年1月2日以降新たに70歳となる国保被保険者のいる世帯から適用)

区分	所得要件	窓口負担割合	限度額	
			外来	外来+入院
現役並所得	課税所得 145万円以上	3割	4万4,400円	8万100円+ (総医療費-26万7,000円)×1% (多数回該当:4万4,400円)
一般	旧ただし書所得(※)の合計額が210万円以下、課税所得が145万円未満、収入の世帯合計額が520万円未満(1人世帯の場合は383万円未満)のいずれか	2割(★)	1万2,000円	4万4,400円
低所得Ⅱ	住民税非課税	2割	8,000円	2万4,600円
低所得Ⅰ	住民税非課税(所得が一定以下)	2割(★)	8,000円	1万5,000円

★特例措置対象被保険者の窓口負担割合は1割

お問い合わせは、国保・年金課 高額療養費=☎948-6355、一部負担金=☎948-6363・☎934-2631へ



寄贈された原稿(表紙)

新井満さんが正岡子規の俳句にメロディをつけたCDブック「春や昔ー正岡子規のふるさとシンフォニー」の出版記念トーク&コンサートが10月30日、子規記念博物館で行われ、会場に詰めかけた300人の観客は子規の俳句と新井さんの歌声に酔いしれました。



記念イベントの様子

新井満さんが直筆原稿を寄贈

CDブック「春や昔ー正岡子規のふるさとシンフォニー」

◆ガラボン大会、昔あそび
日時 平成27年1月1日(木) 祝日
会場 2階ホール
内容 ミュージアムグッズや中島産ミカンをプレゼント
◆ウィンタイルミネーション
期間 平成27年1月12日(月) 祝日までの16時30分~20時
内容 ミュージアム建物、敷地周辺のイルミネーション
◆秋山好古祭2015
日時 平成27年1月10日(土) 19時~20時40分
会場 2階ホール
内容 松山北高等学校コーラス部、松山東雲学園ハンドベル部、愛媛大学邦楽部、地元

お問い合わせは、坂の上の雲ミュージアム ☎9152600・FAX 9153600へ @yon-b.co.jp

お正月特別イベント

◆ガラボン大会、昔あそび
日時 平成27年1月1日(木) 祝日
会場 2階ホール
内容 ミュージアムグッズや中島産ミカンをプレゼント
◆ウィンタイルミネーション
期間 平成27年1月12日(月) 祝日までの16時30分~20時
内容 ミュージアム建物、敷地周辺のイルミネーション
◆秋山好古祭2015
日時 平成27年1月10日(土) 19時~20時40分
会場 2階ホール
内容 松山北高等学校コーラス部、松山東雲学園ハンドベル部、愛媛大学邦楽部、地元

ライズとしてCDブックの直筆原稿が本市に寄贈されました。寄贈された原稿は、「あとがきに代える8つの断章」など2種類で合計24枚。子規記念博物館(道後公園)に展示・収蔵されています。



秋の校区を散策

狙いとしています。日ごろ、児童は1年生から6年生が一緒になって班を作り、清掃活動などを行っています。すが、「みどりをさぐる」は、班のみんなで力を合わせ校区のポイントとなる文化財を巡ってクイズを解き、ゴールの学校を目指すというものです。低学年にとっては行った

「みどりをさぐる」で地域を知る

校区内には神社や寺、石碑、古墳などがあり、児童は地域探検や造形大会などいろいろな学習でこれらの場所を訪れます。その中でも、地域全体を舞台にした伝統的な活動が「みどりをさぐる」です。地域の自然や文化財に触れることで、児童が郷土の文化や歴史を身近に感じ、知ることを

地域で育つ松山っ子

第40回 みどり小学校

児童数 男339人・女343人・計682人
(平成26年11月1日現在)



クイズを解く児童

松山っ子の声
1年生を連れて校区内を回り協力してクイズを解き、校区のことが分かって楽しい。(6年女子)
カッパ山という古墳はとても急な斜面だけどこから見える景色は最高。古墳登りとしても楽しめます。(6年男子)

校区内には多くの文化財があるため一度に全ての場所を巡りきれず、6年間でほとんどの文化財を巡ります。こうして、高学年から低学年へ、地域のよさや歴史、そして絆を伝える「みどりをさぐる」のバトンは、これからも同じ地域で育つ後輩に引き継がれていきます。